



2022年1月26日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2号ファンド」
自動運転技術を開発する May Mobility への投資実行
—自動運転技術でより安全、快適、環境に優しいモビリティ社会の実現—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」により、自動運転シャトルサービスを展開している、May Mobility Inc.（本社：米国、ミシガン州アナーバー、Founder&CEO：Edwin Olson氏。以下、「May Mobility」と表記）に対する投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。May Mobility は今回の調達資金を活用し、技術力強化に向けたエンジニア、顧客獲得に向けた営業、マーケティングチーム、及び海外展開に向けた人員獲得ならびに車両の拡充を行い、更なる事業伸長を目指します。

■投資先企業の概要

May Mobility は Edwin Olson 氏率いる、米国ミシガン大学の自動運転開発チームを中心としたメンバーで2017年に設立されました。現在の社会で実用化が可能な、安全でサステナブルなモビリティソリューションを提供するために、米国の複数都市で自動運転シャトルサービスを運営しています。2021年より広島県にて米国外では初の実証実験を実施しています。自動運転技術の信頼性を高め、公共道路の安全、土地の有効活用を促し、より緑豊かで活気に満ちた、誰もが住みやすい街づくりに貢献するべく技術革新を行っていきます。本件プレスリリースの内容を含む、詳細については May Mobility のホームページ：<https://maymobility.com/> をご参照ください。

■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生 2号ファンド」および「未来創生 3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生 2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とした未来創生 3号ファンドの運用を開始しました。2021年12月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1132億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com